

第4回豊橋ふれあい親子ペア将棋大会 報告

今年“藤井効果”により出場ペアが、応募総数 40 組（事前キャンセル 3, ドタキャン 1）の目標 32 組超えを果たし、36 組となりました。その内訳は三重県いなべ市から 1 組、愛知県尾張地域 7 組、西三河 2 組、東三河 5 組（豊橋市除く）、静岡県浜松市 2 組、地元豊橋市内 19 組となりました。昨年・今年と連続出場ペアは 11 組（約 30%）で他はすべて新規でした。8 月 27 日（日）豊橋市松葉町の市民センターカリオンビル 6F 多目的ホールにて午前 10 時から開会式ルール説明を経て、A,B,C,D,E,F,G,H,I 組 4 ペア総当たり、予選リーグ 54 局が指されました。本大会の目的趣旨は将棋を指すことで親子が意志疎通を図り、気持ちを一つにして親子の絆を深めること。対戦相手の健闘を讃え合い、互いの家族同士が親睦を深めることにあります。玉石混交状態のペアを、実力、地域格差を勘案したグループ分けで、上位群、下位群にスムーズに選別されるように配置しました。しかし、36 ペアから 16 ペアずつのトーナメントに組むことは至難の業で、運営側としては大変苦慮しました。ペア競技の合間に、杉本昌隆七段による指導対局が会場一角で行われ、17 名が教わりました。大会には中日、東愛知、東日新聞各社が取材に訪れ、その模様はケーブル TV カメラに収録され、後日ニュース番組ホットステーションで放映されました。昼食休憩を挟み、真の王者を目指して勝者組 16 強による決勝トーナメントと片や、敗者組による心機一転 市長賞、教育委員会賞争奪トーナメントを戦いました。午後は全部で 31 局が指され、各ペアが日頃から培ってきた親子の実力を勝負対局に、いかんなく発揮されていました。決勝戦は杉本先生の大盤解説による公開対局でこれまでとは違った新たな試みとして、会場向けに TV カメラを設置して盤面中継しました。スクリーンに映し出された局面を見ながら解説を聞き、より臨場感あふれる熱戦を会場内のみなさんが楽しめたと思います。表彰式、閉会式後に参加者一同記念撮影して締めました。来年は、8 月 26 日に第 5 回大会を開催する予定です。

成績結果 以下

優 勝	準 優 勝	第 3 位
金澤 省吾・正一郎 親子ペア 岡崎市 細川町	華房 宏樹・慶太 親子ペア 名古屋市 西区 幅下町	若松 辰彦・大和 親子ペア いなべ市 員弁町
豊橋市長賞	豊橋市教育委員会賞	
白木 貴司・達也 親子ペア 豊橋市 曙町	渡邊 俊彦・真人 親子ペア 豊橋市 吾妻町	